

■エコプロ 2015年12月の話題

情報の伝え方・集め方、市民のエネルギーの流れ、お金の流れに、この一年どんな変化があったか？

各自が一般論でない自らの体験を持ちより、これからの、進め方（～したい）を話し合いました。12/13(日)1400～1600サロン シニア常連6人 「エコ」プロジェクト

◆今年、情報の伝え方、集め方が、驚くほど変わりました。

1. 百年塾ホームページ

毎月のワークショップ（単なる会議や報告会でなく、テーマを決めて知識を分け合う場）を持ち、結果をホームページで公開しました。

五輪と茨城国体に向けた提案をしました。先ず、世界・日本各地からのツアー客を日立へ呼び込む方策として、フェアツーリズム国際大会に参加しました。日立の会場では、外国人も含む来客がパンポンと、なかり・たか原のおもてなしを体験しました。

2. 行政との交流

行政（環政・農水・観光・交通・企画）と意見交換・情報共有の機会を、のべ11回持ちました。エコフェス、百年塾フェスタ、フェアツーリズム国際大会に参画。併せて市民目線でのパンポンバージョン（ワン日立ブランドとして市民のビジネスにつなげる案）や、ソーラーシェアリング（農家の新収入源とする案）を、まち・ひと・しごと創生会議へ市民の意見として提案しました。

3. 企業などとの交流

企業・森林組合・公益財団と意見交換・情報共有の機会を、のべ6回持ちました。林業女子会や日立アルプスへの風力発電設置と森林整備を提案し、バイオ燃料・熱・電気のトリジェネ構想を学びました。市内私有林のバイオ起源水素発電事業の協働提案の可能性を学びました。

4. 講演会、公開会議の傍聴

LRT(富山市) BRT(日立市) 人口社会減(日立市) 講演会、に参加。まち・ひと・しごと創生会議を傍聴し、情報を分かち合いました。

5. 海外から学んだこと

インドを訪問し、その変わり方に驚愕。自転車は車に、ストリートチルドレンは解消。物価は以前の倍になっていました。世界の投資の集中と、豊富な労働力の集約の効果だと知りました。

6. お金の動きと合意のプロセスから学んだこと

東京五輪競技場の建設費に驚愕。一度決めたことでも合意形成のプロセスまで白紙撤回し公募なおした事例は貴重でした。

◆みらい会議・来年度への挑戦 テーマ(案)

1. エネルギー

- 1) 森林バイオ起源の水素社会や、林業女子会などによるしごと創生の新提案をしたい。
- 2) ソーラーシェアリング、地中熱温室による農家のしごと創生・再生の新提案をしたい。
- 3) わが家で、太陽光と地中熱にチャレンジしたい。
- 4) 気候変動・脱炭素社会の議論をしたい。

2. 情報の共有

- 1) 行政・茨大・茨キリとのコラボの仕方を学びたい。
- 2) 地域固有の芸術文化・食文化・資源の共有が仕事になる仕組みを学びたい。
- 3) 受け手が与え手になれる、ワークメーカーになれる仕組みを学びたい。

3. お金の流れ

- 1) 奉仕がお金に変わる仕組みを学びたい。
- 2) 地元にお金が回る仕組みを学びたい。
- 3) 自然がお金に変わる仕組みを学びたい。

